

どうぶつ
動物たちのいのち

大きな地しんがあったとき、八木山動物公園の動物たちはどうしていたのでしょうか。
カポのお話を読みましょう。



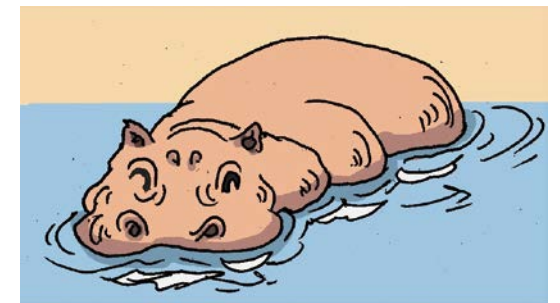
わたしは、カバのカポ。地しんのときは、具合がわるくてしにそうになりました。わたしは体がおもいから、あたたかいプールの中で体をぶかぶかうかばせながら休むのです。でも、地しんの

後、水がつめたくてプールに入ることができなくなってしまいました。わたしは、地面にすわるとなかなか立てなくなってしまったので、「いつものようにあたたかいプールでのんびりしたいなあ。」と思いながら、くらいへやで、じっとがまんしていました。でも電気がこない、水が足りない、水をあたためられない、わたしのへやをきれいにしてもらえないなど、こまったことがたくさんありました。

でも、みんながわたしをたすけてくれたのです。日本中の水ぞくかんや動物園のしいくいんさんがえさを送ってくれました。工事をしていたおじさんは、ボランティアで水をはこんでくれました。動物園では、わたしのプールをあたためるために大事な電気をつかってくれました。しい

くいんさんたちは、わたしのために夜もねないで見守ってくれたのです。

おかげで、わたしは、すっかり元気になりました。夜は、あたたかいプールの中で、ぐっすりねむることができるし、えさだってもりもり食べられます。ねるときにいつも思うのです。「今日も元気！早くみんなと会いたいな。」ってね。



今日もたくさんのお友だちが、わたしたちに会いに来てくれます。ガラスのむこうに、みんなのこにこえ顔が見えます。わたしは、水の中を元気におよいでいるときもあるし、水から上がって日なたぼっこをしているときもあります。のんびり、楽しく毎日をすごしています。いつもみんながあそびに来てくれるのをまっています。

